

教科	英語	学年	第2学年	担当者	大銅 あずさ
----	----	----	------	-----	--------

**[教科目標]**

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

**[使用教科書・教材等]**

・教科書（「SUNSHINE ENGLISH COURSE 2」開隆堂）	・教科書ワーク（エイゴラボ2）
・ニューリスニングプラス中級	・ノート ・ファイル

**[学習計画]**

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	Program1 Did you enjoy your vacation?	be 動詞や一般動詞の過去形を用いて、過去時制の表現を正しく身につけ、運用する。	教科書 ノート ファイル リスニング教材 教科書ワーク
	Program2 A trip to Finland	助動詞willや be going to～を用いて未来の意思や予定を表す表現を正しく身につけ、運用する。	
	Program3 What can we do for others?.	助動詞mustや、have(has)to～を用いて、義務や禁止を表す表現を正しく身につけ、運用する。 接続詞thatを用いて、自分の考えを伝える表現を正しく身につけ、運用する	
	My project 4 スキット作り	既習事項を用いて積極的に対話を発展させる方法を学び、スキットを演じる。	
	Reading Eigo Rakugo	まとまりのある落語の文章を読んで、内容を理解し、落ちを理解する。 どちらかひとつを選んで演じてみる。	
2 学 期	Program 5 Gulliver's travels	There is (are)～を用いて、ものの存在を表すことができる。 接続詞のwhenやifなどを用いて、時や条件を示す節の用法を正しく身につけ、運用する。	教科書 ノート ファイル リスニング教材 教科書ワーク
	Program 6 A work experience program	to+動詞の原形で表される不定詞の3つの用法を正しく身につけ、運用する。	
	Program 7 If you wish to see a change	～ingの形で用いる動名詞が主語や目的語になることを理解し、表現を正しく身につけ運用する。 lookやbecomeなど、補語を使う英文の構造を正しく身につけ、運用する。	
	My project 5 スピーチをしよう	既習事項を用いて、自分の夢をスピーチ形式で表現する。	
	Reading Friendship across time and borders	まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。	
3 学 期	Program 9 A video project	形容詞の比較級や最上級、原級を用いた比較表現を正しく身につけ、運用する。 まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。	教科書 ノート ファイル リスニング教材 教科書ワーク
	Program 10 So many countries, so many customs	形容詞や副詞の比較級や最上級、原級を用いた比較表現を正しく身につけ、運用する。	
	Program11 Yui-to share is to live	受け身の文を正しく身につけ、運用する。	
	My project 6 CMを作ろう	既習事項を用いて、自分の作りたい魅力的な商品のCMアイデアを受け手にとって魅力的に英語で表現する。	
	Reading Her dream came true.	まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。	

**[評価の観点と評価の方法]（通知表のつけ方）**

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
	25%	25%	25%	25%
評価の観点の趣旨	英語に関して興味を持ち、前向きな態度で授業に臨んでいるか。また、与えられた課題をしっかりとやるか。	自分や相手に関することを、英語で話したり、書いたりすることができる力が身についたか。	英語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解できる力が身についたか。	英語とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身につけているか。
評価の方法	出席の状況、準備物 授業態度、提出物 宿題の取組状況	スピーチテスト 定期テスト リーディングテスト	定期テスト リスニングテスト	小テスト（単語テストなど） 定期テスト

**[授業の受け方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）**

- ①英語の学習では、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよくつけていくことが大切です。
- ② そのためには、耳、口、目、手を使って、習ったことを繰り返し復習しましょう。
- ③ 新しく出てきた単語や文の発音は、授業中に先生やリスニングCDの発音をよく聞いて、繰り返し音読して覚えましょう。
- ④ 授業中は、間違いを恐れずに、積極的に発表しましょう。学習についてわからないことは、遠慮なく質問してください。

**[家庭学習の進め方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）**

- ① 英語は予習よりも復習が大事です。その日に学習したことはその日のうちに復習しましょう。
- ② 教科書の英文や単語など、読みながら書く練習を何度も繰り返しましょう。

